

Version 2.2

Aug. 2011

# CMU-800 MIDI インターフェース ユーザーズ マニュアル

## 1. 各部の説明

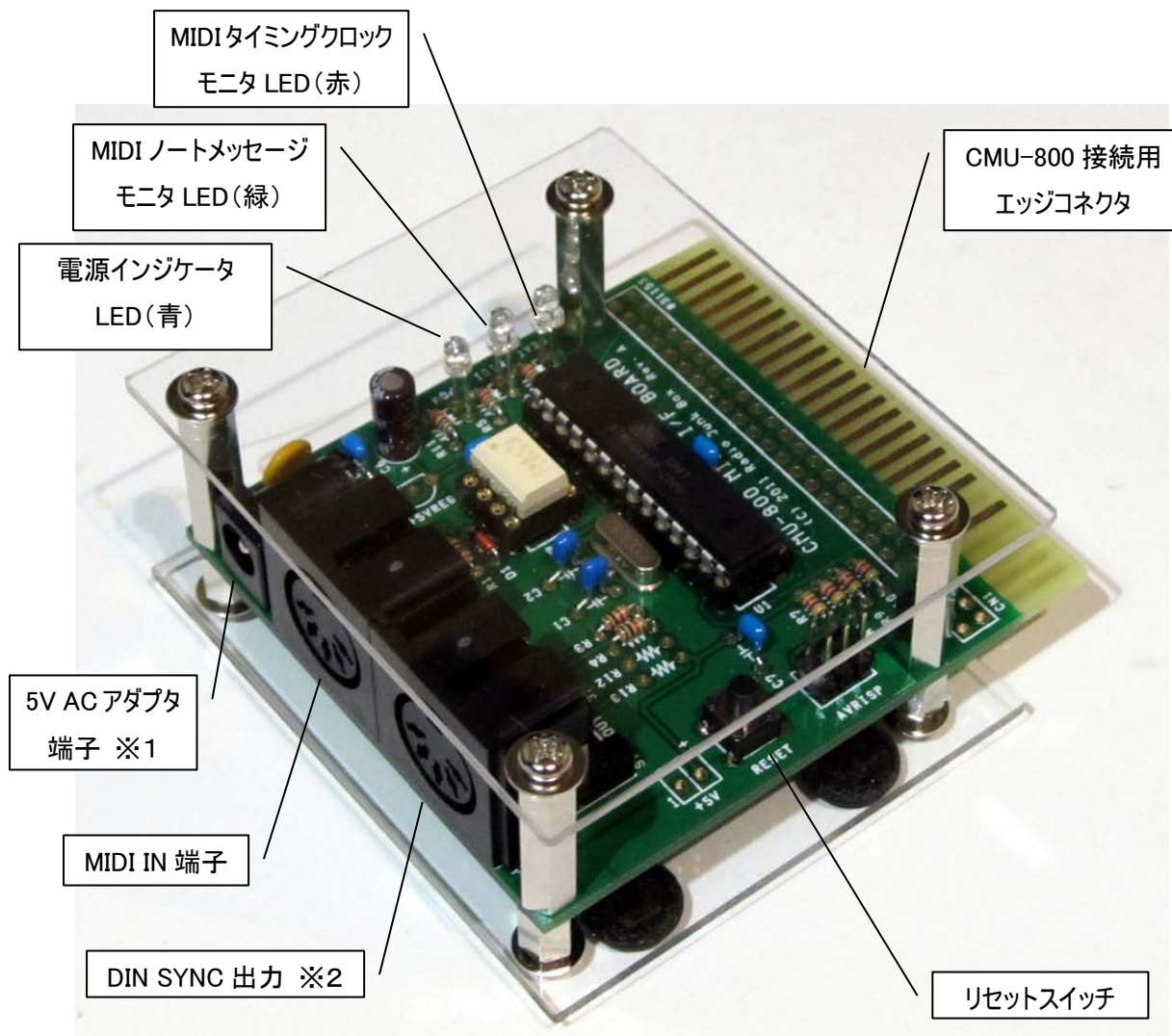


写真1 CMU-800 MIDI インターフェース 各部の説明

### ※1 5V AC アダプタ端子

電圧 5V 内径 2.1mm センタープラスの AC アダプタを接続します。故障の原因になりますので、**必ず出力電圧が 5V で安定化されている製品を使用してください。**

### ※2 DIN SYNC 出力

MIDI 信号のタイミングクロック(F8H)に同期した DIN SYNC(SYNC24) 信号を出力します。  
ただし、MIDI 信号にタイミングクロックが含まれない場合は出力されません。

## 2. 使い方

- ① CMU-800 のフラットケーブルを写真2のように**向きに注意**して本インターフェースのエッジコネクタに接続します。(逆向きに接続すると CMU-800 本体及び本インターフェースの故障の原因になります。)
- ② MIDI キーボードやシーケンサーの MIDI 出力を MIDI IN 端子に接続します。
- ③ 必要に応じて、DIN SYNC 出力を TR-606 などの DIN SYNC 入力端子に接続します。
- ④ CMU-800 本体の電源を ON にします。
- ⑤ 本インターフェースに 5V AC アダプタを接続します。このとき電源インジケータ LED(青)が正常点灯することを必ず確認します。
- ⑥ 本インターフェースのリセットスイッチを押します。  
※ リセット時に CMU-800 本体から音が出る場合があります。
- ⑦ MIDI キーボードやシーケンサーから MIDI データを送り演奏します。このとき、MIDI データにあわせて MIDI ノートメッセージモニタ LED(緑)や MIDI タイミングクロックモニタ LED(赤)が点滅します。
- ⑧ 電源を OFF する場合は、先に本インターフェースの AC アダプタを外してから、CMU-800 の電源を OFF にします。

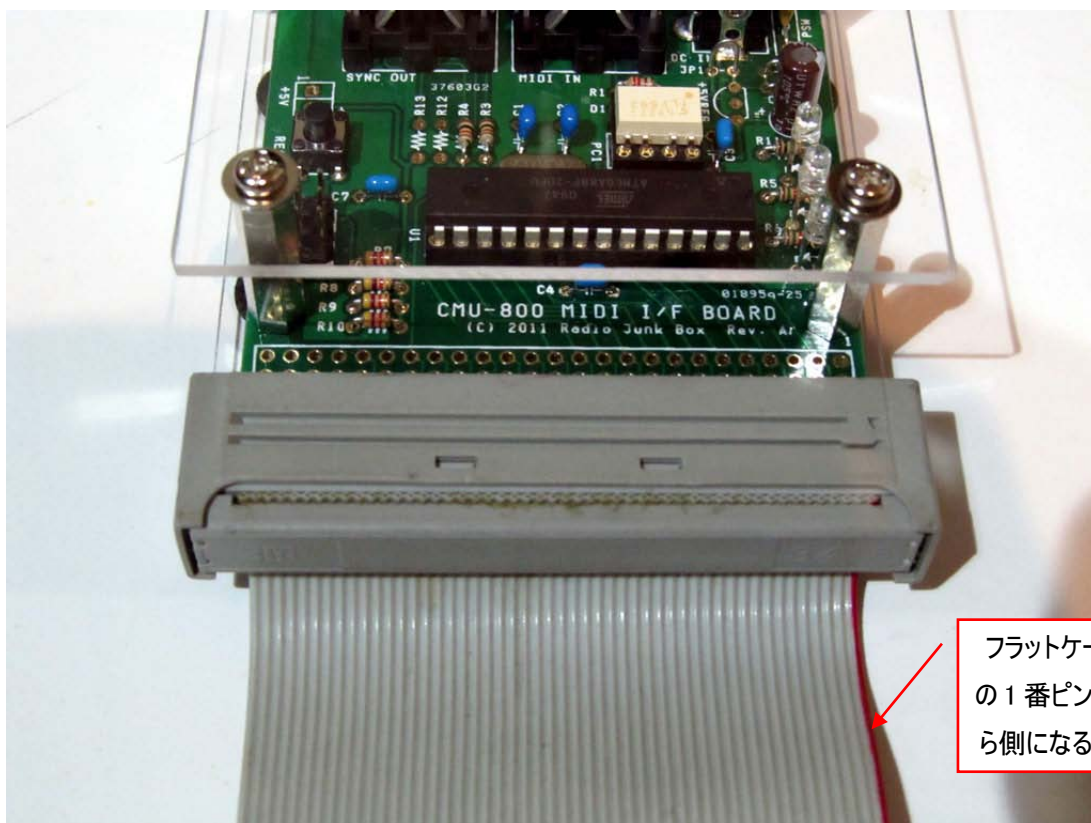


写真2 エッジコネクタに CMU-800 のフラットケーブルを接続

### 3. MIDI チャンネル対応表

MIDI チャンネル番号と CMU-800 内蔵音源及び CV、GATE 出力の対応は表1の通りです。

この設定は固定のため変更できません。

表1

MIDI チャンネル 番号	CMU-800 内蔵音源	CV OUT	GATE OUT	備考
1	MELODY	CH-1	CH-1	モノフォニック
2	BASS	CH-2	CH-2	モノフォニック
3	CHORD	CH-3	CH-3	モノフォニック
4	CHORD	CH-4	CH-4	モノフォニック
5	CHORD	CH-5	CH-5	モノフォニック
6	CHORD	CH-6	CH-6	モノフォニック
7	—	CH-7	CH-7	モノフォニック
8	—	CH-8	CH-8	モノフォニック
9	CHORD	CH3~6	CH3~6	4音ポリフォニック
10	RHYTHM	—	—	ドラムマップ参照
11~16	—	—	—	

- 1~8 チャンネル(内蔵音源は 1~6 チャンネル)については、複数のノートオンメッセージを受信した場合、**高音優先**で出力(発音)されます。
- MIDI 9 チャンネルのノートを受信した場合は、コードパート(CH-3~6)の内蔵音源および CV/GATE OUT により 4 ボイスのポリフォニック(後発優先)として処理します。
- 内蔵音源の発音範囲は MIDI ノート番号 24(C1) 以上です。それより低いノート番号の場合は C1 が出力されます。
- CV 出力範囲は CMU-800 の仕様により、MIDI ノート番号 24~87(0~5.25V) までです。
- 内蔵音源は、ピッチバンド、モジュレーションに簡易的に対応しています。(5. 内蔵音源参照)

#### 4. ドラムマップ

内蔵リズム音源と対応する MIDI ノート番号は表2の通りです。

この設定は固定のため、変更できません。

表2

内蔵リズム音	MIDI ノート番号 ( )内は GM 音源	備考
BD	35(ABD)、36(BD)	
SD	38(SD) 、40(ESD)	
LT	41(LFT)、43(HFT)、 45(LT)、47(LMT)	
MT	48(HMT)、50(HT)	
CY	49(CR1)、57(CR2)	
OH	46(OH)	
CH	42(CH)	

## 5. 内蔵音源

本インターフェースは、1～6チャンネルの内蔵音源に対してノート ON/OFF のほか、次の MIDI メッセージに対応しています。

表3

効果	MIDI メッセージ	備考
ピッチバンド	ピッチバンド	範囲 ±2 半音
モジュレーション	CC #01	
モジュレーション波形	CC #16	4 段階 三角波、ノコギリ波、逆ノコギリ波、矩形波 デフォルト: 三角波
モジュレーション周波数	CC #17	8 段階 (0.5Hz～64Hz) デフォルト: 8Hz
モジュレーションデプス	CC #18	4 段階 約±1 半音～約±10 半音 デフォルト: 約±1 半音
デチューン	RPN マスターファインチューニング	±1 半音 max (分解能 約 1.5 セント)
オールサウンドオフ	MM #120	
リセットオールコントローラー	MM #121	デフォルト設定に戻す
オールノートオフ	MM #123	

- CMU-800 内部のマスターオシレータが 2,539,732Hz の時、A=440Hz となるように設定しています。
- MIDI 9 チャンネルのメッセージについては、ピッチバンドとモジュレーションのみに対応しています。

## 6. その他の注意・制限事項

- 動作が不安定になった場合には、インターフェースのリセット SW を押下してリセットしてください。
- CMU-800 本体の TEMPO コントロールは使用しません。
- CMU-800 本体は製造後 20 年以上経っており、予期せぬ故障が潜んでいる可能性があります。  
本インターフェースは実機による動作テストを経て出荷していますので、正常動作しない場合は、CMU-800 本体が故障している可能性があります。
- 本インターフェースは個人的な趣味の範疇として頒布しているものです。  
将来に渡って、アフターメンテナンスのお約束ができないことから、基本的に本インターフェース及び CMU-800 本体の故障・動作不良等による修理やファームウェアのアップデート等には応じられません。  
(ただし頒布後、3 週間以内に生じた初期不良は除きます)